福井市文化会館を考える
ワークショップかわら版

yarossa!

やろっさ！

平成28年12月7日(水)、福井市役所にて「第2回福井市文化会館を考えるワークショップ」を開催しました。第2回となる今回のテーマは、『文化会館でやってみたいこと』、『文化会館の将来像を考える』。18名の皆様にお集まりいただき、今回も3つのグループに分かれてワークショップを行いました。

前回よりもより具体的な内容を考えるテーマに、はじめは皆さん戸惑っていたようですが、次第に議論は白熱していきます。

まずは、何を文化会館でやってみたいか、関わってみたいか。そして、そのことがどのように文化会館の将来につながっていくのか。その将来の文化会館があることで、周辺にどのような変化を与えるか。時系列に沿って考えていくこと、それから文化会館についてだけでなく、人やまちについても考えていくことが、大きなポイントとなっているようです。

↓今回も白熱するチーム内での議論。発表も皆さんとても上手です。

第2回ワークショップテーマ
『文化会館でやってみたいこと』『文化会館の将来像を考える』

意見のまとめ

	文化会館でやってみたいこと、関わりたいことは？	文化会館は将来、どうなっているといい？	文化会館があることで、福井のまちや住民にどんな変化がおきる？
サンタチーム	・施設のスタッフとして働く ・ワークショップや講座、教室の開催 ・いろいろな事業 ・文化情報のアーカイブ設置 ・皆が利用しやすい施設にする	・人が集い、出会い、つながるたまり場 ・文化団体の活動拠点 ・福井県一の芸術文化の場 ・ふらっと立ち寄れる施設 ・子ども、若者が集う場	・生活スタイルの変化：職場と自宅の往復だけでなくなる ・施設の周辺がにぎわい、経済が活性化 ・文化力の向上 ・市民一人ひとりが創造活動を気軽に行う ・文化会館がまちのシンボルとなる
トナカイチーム	・日常とハレの日が両立している ・市民が体験する場をつくる ・一流の芸術文化にふれ、感動と出会う ・無料の場と有料の場を設ける ・交流の場をつくる ・自主事業の企画	・市民全体の活動拠点 ・福井の顔となる場所 ・社会問題に取り組む ・施設周辺にも人が集い、生活の中に文化施設がある ・現在の周辺環境や施設環境が活かされている	・まちに何かをやろう！という人が増える ・文化が常に隣にあり、多文化を認め合う ・明るく、豊かで彩りのあるまちになる ・文化が育ち、文化を創造する ・社会、世界に目を向けるようになる ・誇れる福井になる
雪だるまチーム	・芸術文化の人材育成 ・野外コンサート、食イベント、講座、アウトリーチ、ワークショップ など ・夢とロマンあふれる場 ・市民のよりどころとなる	・利用しやすい料金 ・いつでも誰でも使える場所 ・芸術文化のアーカイブ ・シンボルとしての施設 ・もしなくなっていても、文化は残る	・多様な価値観を認める人が育つ ・文化会館が交流の場となり、当たり前の存在になる ・市民の主体性、自立性の促進 ・毎日が楽しくなる ・文化のまち、芸術のまちになる

次回のテーマは『年間利用計画をシミュレーションする』。今回考えた『文化会館でやってみたいこと』をどのようなスケジュールで、どのように利用していくか、具体的に考えていきます。

いよいよ盛り上がってきたところですが、今年度のワークショップは次回で終了となります。文化会館に対する想い、何か言い残したことはないですか？

皆さんで考えた、『文化会館の将来像』の実現に向けて、次回も自由闊達な熱い議論が交わされることを期待しています！

次回予告

第3回ワークショップ
日　時：平成29年1月13日(金)
　　19時～21時
場　所：福井市役所
テーマ：
「年間利用計画をシミュレーションする」

お問合せ

〒910－8511
福井市大手3丁目10番1号
福井市役所　商工労働部 観光文化局
文化振興課
TEL　：0776-20-5367
FAX　：0776-20-5670
E-mail：b-shinkou@city.fukui.lg.jp

なんでもアンケートより

福井の文化芸術の未来を考えることでかなり明確に文化会館の役割が見えてきたように感じます。これからさらに進めていくとすごいことになりますねー！

市の HP などに文化会館に関する掲示板をつくるなどして自由に書き込みしてもらうのもおもしろいと思います。

芸術監督、ホールマネージャー等を育成（やってみたい）すると、ホールの方向性や、可能性も多様になるのでは？

策定委員会でどういう話がなされているのかの共有をもっとしてほしい。

文化会館は市民文化のゆりかごであるべき。

今はとにかく、意見を蓄積して、次に生かしていってほしいと思う。

たくさんのご意見、ありがとうございました！